

事故事例

AML を解除しての作業における事故

ラフテレーンクレーン

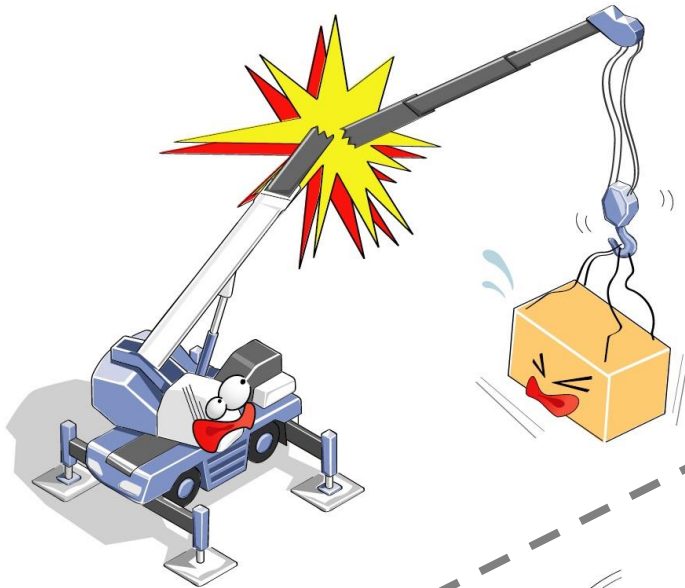
1/2

事故発生状況

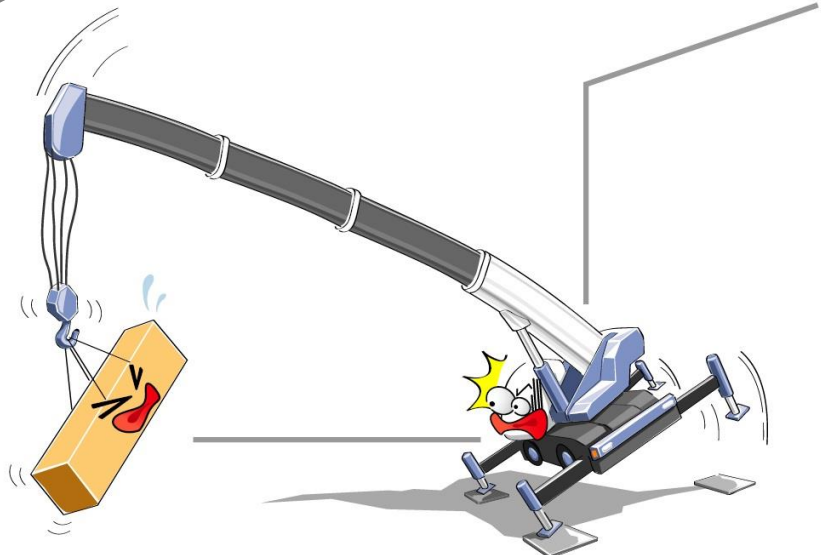
① アウトリガ最小張出側に
旋回して転倒



② 過負荷で作業を行い破損



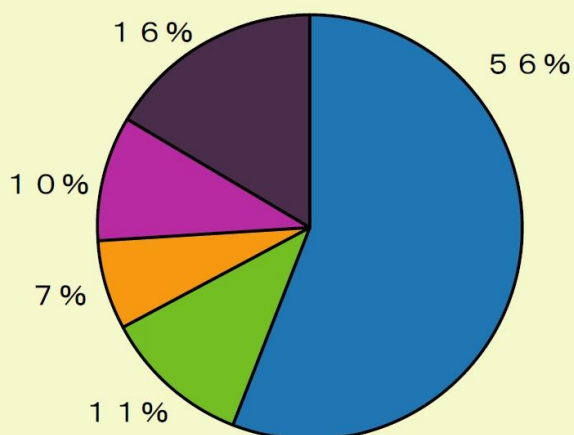
③ 作業半径を大きくし、
過負荷になって転倒



原因

AML を解除していたため、過負荷状態でも自動停止しなかった。

クレーン作業事故 原因割合



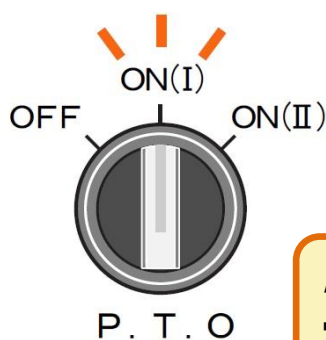
AML 解除による事故が全体の約7割

- 過負荷作業
- 性能小さい方への旋回
- 強風等による吊荷の振れ
- アウトリガ設置地盤陥没
- その他

2005～2008年 当社クレーン事故情報による

対策

重要！ クレーン作業時には、AML を絶対に解除しないでください。



AML を解除しての作業は、非常に危険です。
過負荷領域や転倒危険領域に作動させても自動停止せず、重大事故につながります。

AML の自動停止機能を解除して、クレーン作業を行うことは労働安全衛生規則 第二十九条で禁止されています。

重要！ AML 非常スイッチは、「常用」にしてキーを抜いて、車両管理者または工事管理者が管理してください。

AML 非常スイッチ

